

## 特定非営利活動法人シニアの再チャレンジを支援する会 第4回 理事 会 議 事 録

1. 開催日時：平成30年7月27日 金曜日 13:00~13:30
2. 開催場所：としま産業振興プラザ（IKE-BIZ）4階会議室  
所在地＝東京都豊島区西池袋2丁目37-4
3. 理事総数：8名 当議題に対し議決権を有する理事：7名  
出席した理事の数 5名（書面表決者 2名）
  - ・出席理事：小池 久雄 白井 誠一 林 俊雄 岩熊 徹 宮崎 弘行
  - ・議決に加わることの出来ない理事：名古屋 美鳥  
(定款第35条4項の規定による)
4. 議事の経過の概要及び議決の結果  
上記のとおり定足数に足る出席があったので、理事小池 久雄氏が選ばれて議長となり、議案の審議に入った。

### 議案 “さいちやれサロン”プロジェクト実施承認の件

“さいちやれサロン”プロジェクト参加理事である、名古屋理事より、当プロジェクト実施についての説明があり、当プロジェクトは、実施要件を全て満たしていること。また有用であることが説明され、プロジェクトの実施について採決を行ったところ、参加理事全員の賛成により、実施が承認された。また議長より当理事会の決議は、定款第34条2項の規定を満たしており有効である旨が説明された。


### 5. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より、議事録署名人として、林 俊雄氏と宮崎 弘行氏の2名を指名したいとの提案があり、諮ったところ全員意義なく承認された。


議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事署名人は次に記名押印をする。

平成30年7月27日

議 長 小池 久雄 

議事録署名人 林 俊雄 

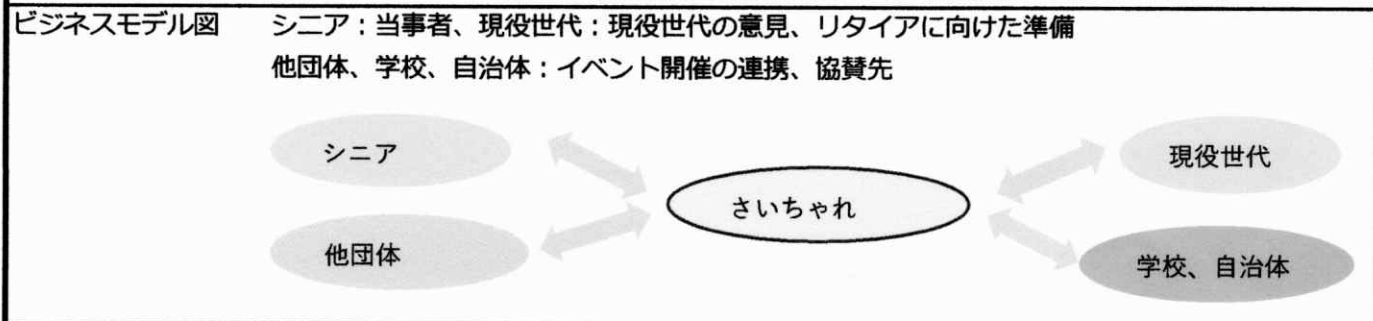
議事録署名人 宮崎 弘行 

実行責任者：	青木美恵	さいちゃれ理事会実施判断 (可)・否)
参加理事：	名古屋 美鳥	(理由)：当プロジェクトは実施要件を完全に満たしており
参加会員数：	4名	さいちゃれ活動にマッチした活動と認められる事

**プロジェクト実行計画書 (no SP-001)**

事業名	さいちゃれサロン
事業の目的	
1) テーマ	人生100年 いきいき輝く自分のために 背景： 不安をかかえた個人、社会に役割のないシニア RSSCに入ったものの、月日はあっという間に流れ次に進めない不安 リタイアしたものの、何をしてよいかわからない不安 リタイア後、どうなるかわからない不安
2) ミッション	QOLを高めて健康寿命を延ばし、「さいちゃれ」により社会参加する。
3) ビジョン	シニアのライフモデルを創出し、社会に発信する。
4) 成果目標	リタイア後のシニアが、生きがいを持って楽しく社会参加する社会を目指し、さいちゃれはそのノウハウを創出、成長させる

<b>内容</b>	
①活動内容	各回毎にテーマとゴールを設定して、1回2H程度で講師による勉強会、又は、ワークショップを開催する。 シニアのみに限定せず、他団体、現役世代、学校、自治体との連携も検討する。 運営スタッフは1名以上の会員と非会員(希望者)とする。
②コンセプト	健康を維持し、やりがい生きがい活動を実践していく
③対象・収入源・費用	対象：RSSC受講生、修了生、一般参加も対象 収入源：参加費1回1000円 費用：講師謝礼、会場費、資料代、茶菓子代、スタッフ交通費



<b>収支計画</b>						
収入				支出		
1年目	@1000	10人	4回	40,000円	講師謝礼 会場費 印刷代 茶菓子代 スタッフ交通費	1年目は試行期間。実施後に2, 3年目の計画を見直す。 さいちゃれのPRを目的とし 1,2年目は収支=0 3年目～黒字化を目指す。
2年目	@1000	15人	8回	120,000円		
3年目	@1000	20人	8回	160,000円		

<b>中長期目標</b>	
1年目	毎回10~15人の参加者で顔見知りの関係になる こんな強みがある、これならできるかも等の発言
2年目	運営が定着している 参加者も増加し、黒字転換を目指す。
3年目	さいちゃれを目指す集いの場として認知され、他団体との連携も定着し、 現役世代の参加も増えている 介護予防教室のような地域に密着したサロンも計画する

<b>課題</b>
1. さいちゃれの中でのこの活動の目的、位置づけを明確にする。

プロジェクト実行計画書 (no SP-001)	
事業名	さいちやれサロン
案：さいちやれが広く認知され、活動に参加する会員を増やすための広報活動とする。	
従って、この活動そのもので大きな収入源として会への貢献は期待しない。	
2. 会場費をこの活動の収入から負担するか	